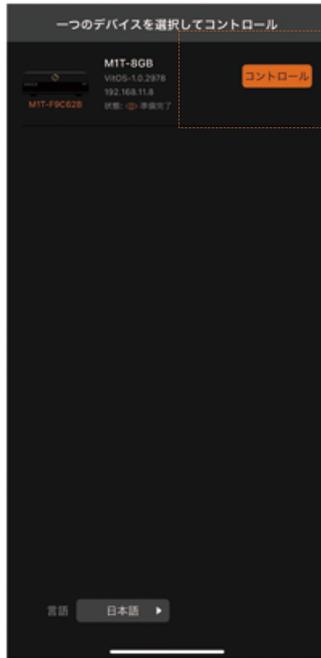


# VitOS Orbiter

## 1: M1に接続する

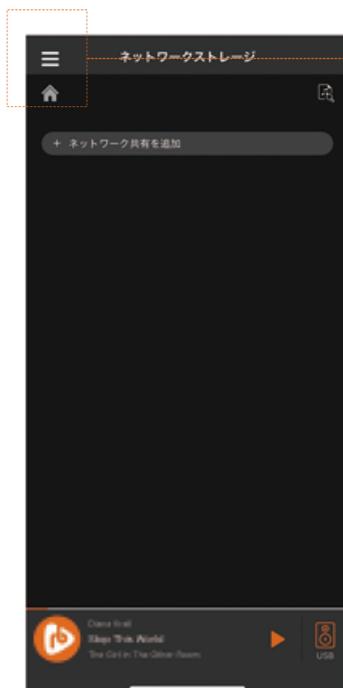
最初に、お使いのiOS/androidデバイスに“VitOS Orbiter”をインストールし、デバイスをM1と同じネットワークに接続します。M1の電源を入れ、VitOS Orbiterを開くと、次の画像のようにVitOS Orbiter上でM1が見つかります。



“コントロール”をタップします。

## 2: ストリーミングサービスの設定

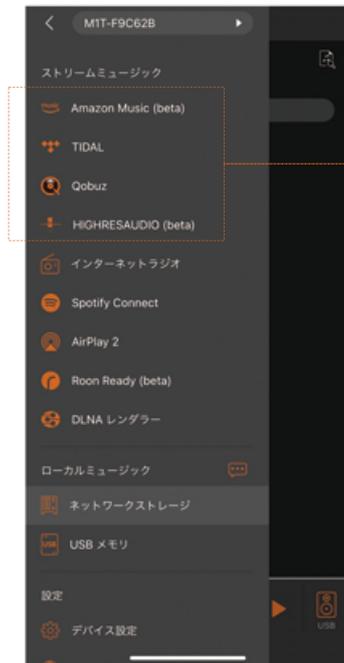
2-1: 画面左上のメニューボタンをタップし、メニューを呼び出します。



“メニューボタン”をタップします。

# VitOS Orbiter

2-2:メニュー内でご契約されているストリーミングサービスを選択してください。



ご契約のストリーミングサービスを  
タップします。

2-3:ストリーミングサービスのログインに必要な情報を入力してください。



ログイン情報を入力し、ログインをタップします。

2-4:ログイン後、ストリーミングサービスの画面に移動します。VitOS Orbiterアプリ内で音楽再生をお楽しみいただけます。

# VitOS Orbiter

## 3: Spotify Connect

3-1:メニュー内の“Spotify Connect”をタップします。



Spotify Connectをタップします。

3-2:“Spotify Connect”を有効にする。



状態の右側にあるボタンをタップし、“有効”にします。これで Spotify Connect が利用可能になりました。

# VitOS Orbiter

## 4: AirPlay 2

4-1:メニュー内の“AirPlay 2”をタップします。



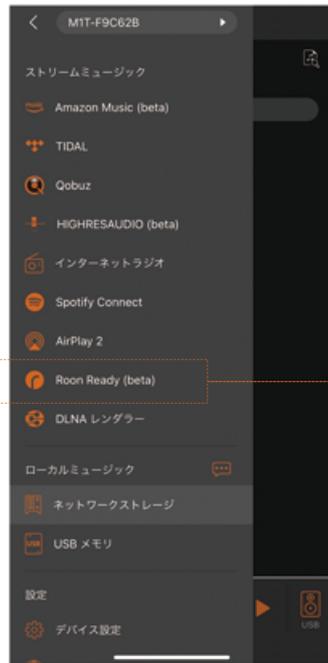
4-2:“AirPlay 2”を有効にする。



# VitOS Orbiter

## 5:Roon Ready

5-1:メニュー内の“Roon Ready”をタップします。



Roon Readyをタップします。

5-2:“Roon Ready”を有効にする。

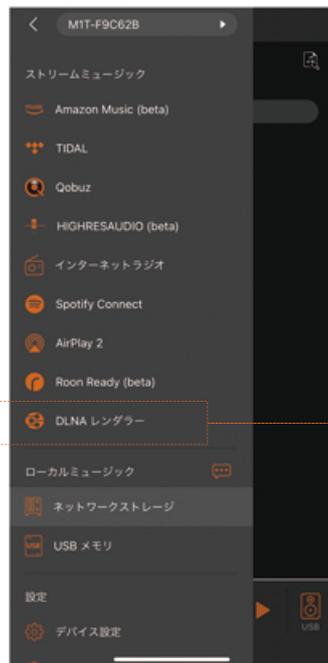


状態の右側にあるボタンをタップし、“有効”にします。これでRoon Ready機器して利用可能になりました。

# VitOS Orbiter

## 6: DLNAレンダラー

6-1:メニュー内の“DLNAレンダラー”をタップします。



DLNAレンダラーをタップします。

6-2:“DLNAレンダラー”を有効にする。

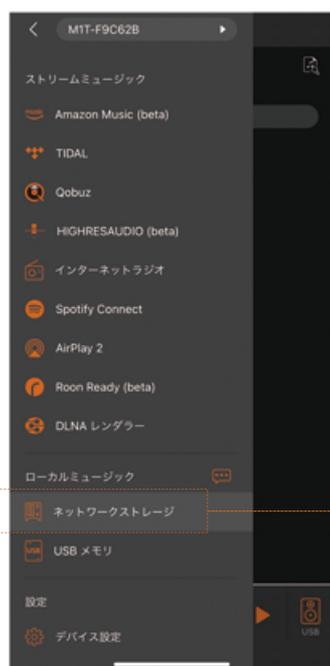


状態の右側にあるボタンをタップし、“有効”にします。これでDLNAレンダラーとして利用可能になりました。

# VitOS Orbiter

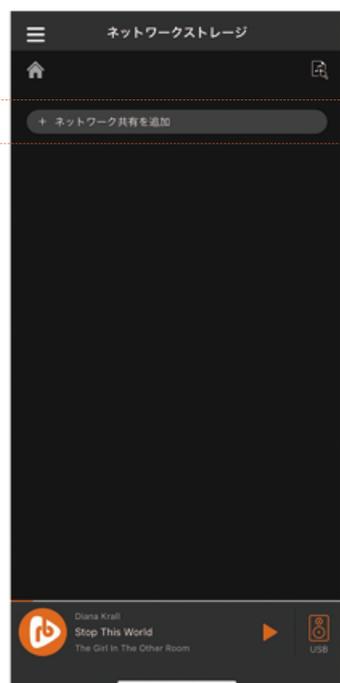
## 7: ネットワークストレージ内の楽曲を再生する

7-1: メニュー内の“ネットワークストレージ”をタップします。



ネットワークストレージをタップします。

7-2: “ネットワーク共有を追加”をタップ。



ネットワーク共有を追加をタップします。

# VitOS Orbiter

7-3:ネットワークストレージにログインする。



ネットワーク内のストレージが検出されます。  
ログイン情報を入力し、“接続”をタップします。

7-4:フォルダの選択

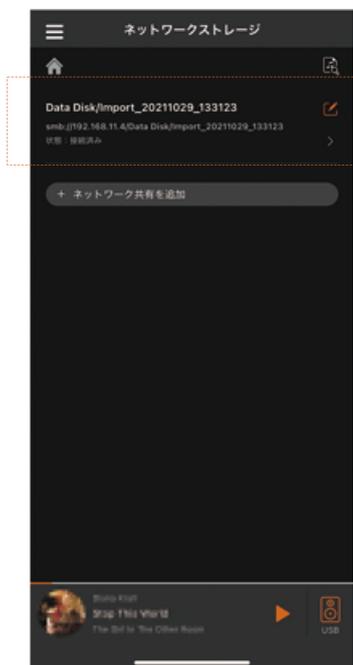


ネットワークストレージ内の追加したい  
フォルダを選択します。

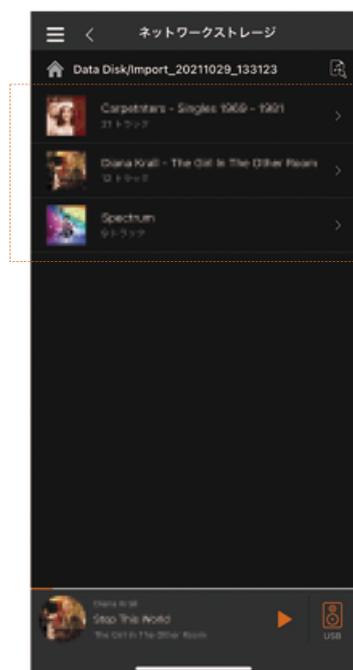
選択されたフォルダが表示されます。  
必要なフォルダを追加したら“応用”を  
タップします。

# VitOS Orbiter

## 7-5: 楽曲の再生



ネットワークストレージに追加したフォルダが表示されるので、フォルダをタップします。



フォルダ内の楽曲が表示れます。  
楽曲をタップすると再生が始まります。

# VitOS Orbiter

## 8:再生画面

8-1:ストリーミングサービスのプレイリストや、ネットワーク・ストレージ内のアルバムを選択すると、下記のようにアルバム/プレイリスト内の楽曲が表示されます。



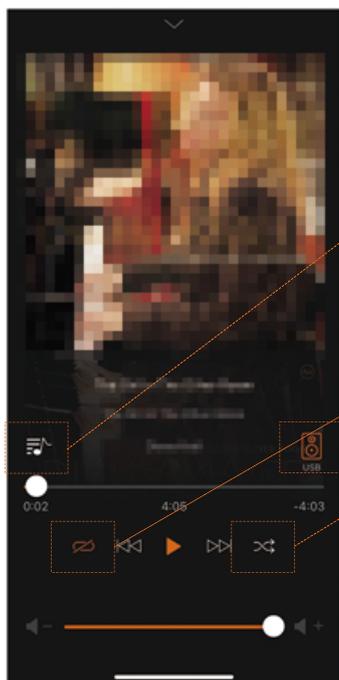
再生中のサービスを表示します。

アルバムアートを表示します。  
※ネットワークストレージの楽曲は、楽曲データと同一フォルダ内にアルバムアートデータを保存する必要があります。

アルバム/プレイリスト内の楽曲リストを表示します。

タップするとトラックの詳細を表示します。

## 8-2:トラックの詳細



再生キューを表示します。

M1から出力するか、外部USB DACを利用するかを選択します。

リピート設定  
(1曲、再生キュー全曲、なし)

シャッフル設定

# VitOS Orbiter

## 9: M1の設定

9-1:設定画面を呼び出す。



メニュー内の"デバイス設定"をタップします。

9-2:一般



機器の名称を変更できます。

出力の選択  
M1から出力するか、外部USB DACを利用するか選択できます。

# VitOS Orbiter

## 9: M1の設定

### 9-3: サービスアカウント

ストリーミングサービスのステータスを確認できます。



サービスへのログイン、ログアウト  
ができます。

### 9-4: 内部DACとデジタル出力

内部DAC（M1のみ）とデジタル出力の設定ができます。

